

科目名	中国語Ⅰ	
担当者	谷口 明夫 / TANIGUCHI, Akio	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	この授業は中国語を初めて学ぶ人が対象です。 中国語の発音と基本的文法、日常の挨拶言葉、短い文の読解、簡単な作文を学びます。
	到達目標	1, 4種の声調と半3声、声調変化の規則を理解し、声母と韻母を正確に発音し、自分の名前を中国語で紹介できるようになる。 2, 簡単な挨拶、1～10の数字と「是」（～である）と「有」（もっている）の構文を肯定、否定、疑問の形で言えるようになる。
授業計画	(1) 4つの声調とその声調には意味があるということ。単母音と声調の練習 (2) 単母音・複母音と声調の練習。挨拶の言葉。主語と述語だけの短文 (3) 声母の発音練習。無気音と有気音、摩擦音、捲舌音、新しい単語と文 (4) 鼻音（-n, -ngを伴う音）の練習。1～10の数字の発音。新しい単語と文 (5) 第1課 人称代名詞と自己紹介 「私は～と申します。」という表現 (6) 同上 発音・朗読の練習と練習問題 (7) 第2課 「是～」（～です）の表現と「～吗?」（～か）と疑問詞疑問文 (8) 同上 発音・朗読の練習と練習問題 (9) 第3課 目的語のある表現（～を～する）と形容詞述語文 (10) 同上 「こそあど」言葉と「～的」（～の）表現と「的」の省略 (11) 同上 形容詞述語文。発音の矯正と朗読の練習 練習問題 (12) 第4課 「想」（～したい）と形容詞述語文 (13) 第5課 「有」（もっている）数の言い方（11～9999億）家族の呼び方 (14) 同上 比較の言い方 家族の呼び方 量詞の用法（1人などの言い方） (15) 練習問題 想まとめ	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおく。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておく。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ文法と新出単語を復習して記憶する。 ・テキストの本文を何度も読み、書き写す。
使用教材・参考文献	【教】相原茂 陳淑梅 飯田敦子『日中いぶこみ広場』 朝日出版社 2011年	
成績評価方法と基準	発音:30点 筆記試験:70点 欠席1回につき3点減点。出席が3分の2に満たない場合、失格となります。教科書を持たずに受講することが続いた場合、単位の認定はとても困難になります。	
備考	声調を含む発音は、1音節語が発音できるようになれば、それでマスターできたというものではありません。複音節語の各音節を正確に流暢に発音できるようになるまでが第1段階です。	